



国際ロータリー第2610地区 南砺ロータリークラブ クラブ会報

なんと

NO. 2092

URL <http://www.nanto-rc.jp>E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/金沢信用金庫福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影
写真同好会
細川誠三会員

第2152回例会 平成23年11月15日(火)小雨

◆点鐘 12:30 司会 税光信作 SAA

◆ソング「我等の生業」

◆ゲスト 南砺警察署長 鈴木康雄様

◆会長の時間 松井洋司会長

先日11/11(金)大雨の中、ゴルフ同好会のコンペに参加し、何ともお恥かしい成績でラウンドしてまいりました。上手な方々には、感心を越えて尊敬の気持ちを捧げます。奥村プロを交えての反省会では、楽しく目一杯反省をさせていただきました。誰か曰く、「金の掛け方が足りぬ!!」でした。

先週と同じく、新聞の記事からですが、『都道府県の「幸せ感」ランキング』で北陸が上位独占とあります。法政大学大学院が47都道府県ごとの平均寿命、出生率、完全失業率、犯罪発生件数など40の社会経済統計指標から「幸せ度」を調べ、順位を発表した。富山は2位、福井が1位、石川が3位と北陸3県が上位を占めた。富山は「労働企業」「安心安全」「医療健康」「生活家族」の全4部門で全て5位以内になり、福井とは僅差の2位。生活保護受給者や出火件数の少なさ、正社員比率の高さなどがいずれも全国トップだった。福井は未婚率が低く、出生率が高いこと、犯罪が少ないことが評価された。

ちなみに、最下位47位は大阪、46位高知、45位兵庫だったそうです。大阪は生活保護受給者の多さや、治安の悪さから厳しい結果となったとの事です。

辛抱強く、真摯な生活感、豊かな自然、その他にも多くの要素があつての結果だと思いますが、県民の1人として喜ばしい情報と感じました。

◆幹事報告 吉田 勉幹事

- ①米山奨学会より10月の寄付金傾向書受領。
②氷見中央、井波庄川、砺波、射水RCより例会変更の案内

◆出席報告 古瀬喜八郎委員長

会員数	11月15日出席率	11月1日の修正
51	84.31% (欠8)	84.31% (欠8メーク3)

メーキャップ:岡部一輝君、澤田喜朗君、松本一哲君

◆委員会報告

○プログラム

北島芳信委員長

11/22(金)合同夜間例会 於桜ヶ池クアガーデン 18時受付・軽食
送迎バス…福野庁舎前17:30 福光駅前17:40 城端駅前17:50

○会員増強

川合声一委員長

例会見学のチラシ配布しますので会員にふさわしい人に声を掛けて参加して貰ってください。

○親睦活動

木村伊徳委員長

12/20のクリスマス家族会 IOXケルム 18:00点鐘

会員5,000円 家族2,000円 子供1,000円

1/10新年会 17:30 みや川 4,000円

○写真同好会

高野実同好会長

南砺市文化祭のヘリオスの写真展示場にて作品鑑賞と解説を行いますから例会終了後会場へお集まりください。

◆ニコニコBOX

山田英敏副委員長

松井君 鈴木署長さんようこそ。少しずつ、冬の気配を感じます。みなさん風邪をひかれませんように!!

澤田君 南砺警察署 鈴木署長をお迎えして。本日はよろしくお祈りします。

吉田君 鈴木警察署長様をお迎えして。17日料飲組合研修会でもお世話になります。宜しくお祈りします。

古瀬君 大変忙しい中、鈴木署長さんようこそ。

川合君、南部君/南砺警察署鈴木署長をお迎えして。

宮川君 鈴木南砺警察署長をお迎えして。同好会コンペに優勝しました。奥村プロからいいヒントをいただきました。

渡辺君 鈴木署長をお迎えして。皆さん交通安全お願いします。

山田英君 南砺警察署長鈴木康雄様をお迎えして。菊まつり、南砺市展とすばらしい作品を見学しました。

久し振りに芸術の秋を堪能させていただきました。

岡部君 先週のクラブコンペでBB賞を戴きました。大変楽しい1日でした。懇親会の米田さんの「福光めでた」はいつ聞いても素晴らしいです。又、米田さんの体のやわらかさには驚きました。

細川君 選暦野球すべて終了。砺波地区トーナメント大会、春秋連覇、富山県大会第3位、義仲巴杯準優勝と大変良い成績の1年でした。

河合君 11月の常例法座の日です。早退します。南砺警察署長様ありがとうございます。又11月18日に富山県の更生保護大会が南砺市井波総合文化会館での開催に忙しく準備に入っております。

松本敏君 サザンカの花が咲くと一年の早さをつくづく感じます。

木勢君、上坂君/都合により早退します。

本日のプログラム 11月22日(火) 第2153回
RA合同・夜間例会…市政講座/講師 長澤孝司氏
18:00受付/桜ヶ池クアガーデン 北島企画委員長担当

次の予定 11月29日(火) 第2154回
卓話 城端時報社代表 山本哲也氏
山田 勉会員担当



卓話

「安全で住みよい町に」

南砺警察署長

鈴木康雄氏

1 「富山県暴力団排除条例」の施行について (要旨)

(1) 暴力団迫放の動き

○本年8月1日に、「富山県暴力団排除条例」が施行されました。

○最近の治安情勢は、地域社会一体の防犯運動など犯罪抑止活動の推進により、数値的には減少傾向にあります。暴力団等の反社会的勢力による犯罪や暴力団組織の存在は、依然、市民生活の大きな脅威となっています。

○こうした中、行政や各種業界における暴力団排除の裾野が確実に広がり、従来の暴力団取り締まりに加え、県、県民、事業者、関係機関団体等が連携し、「社会対暴力団」への構図転換を図り、暴力団の資金源を断ち、暴力団を孤立化させ壊滅するため、各種施策を幅広く盛り込んだ暴力団排除条例が全国都道府県で施行されました。

○県条例では、「暴力団を恐れない」、「暴力団に資金を提供しない」、「暴力団を利用しない」ことを基本理念に、県の公共工事その他事務等や県の公の施設の利用について、暴力団はもとより、これらと親密に交際する者も排除する規定が整備されました。



(2) 暴力団による不当要求への対抗

○不当要求に対しては、ご自分たちだけで悩まずに、気軽に警察に相談をして下さい。

○例えば、取引契約書中に「暴力団と判明した場合の契約破棄」といった暴力団排除条項や「私は暴力団員ではありません」といった誓約書の提出を求める等の対策をとることが望ましい。

○県条例第9条に、暴力団の排除に資すると認められる民事訴訟の提起などに対し、情報提供等の必要な支援を行う旨の規定が整備されており、遠慮なくご相談をなさして下さい。

2 「高齢者の交通事故防止」について

(1) 高齢者の交通特性に応じた交通事故防止対策の推進

管内では、高齢者が犠牲となる交通死亡事故の多発傾向が続いており、高齢者の特性というものをよく理解したうえで、これまで以上に交通安全教育を啓発的に進めるとともに、高齢化社会に応じた安全安心対策を一層推進していく必要があります。

(2) 高齢者の交通特性

○制動距離

筋力低下に伴い、20代に比べ、高齢者では5～6メートル距離が伸びます。若い人であれば防げる事故も、高齢者であれば事故になる危険性が高まります。

○標識などの判読可能距離

加齢に伴い水晶体が固くなり、焦点調整が衰えて動体視力が低下するため、20代では120m～130m位で判読終了するのにに対し、60代や70代ではこれが半分位になってしまいます。

○視野が狭くなる

10代～30歳位の視野は約175度でほぼ真横近くまで見えますが、加齢に伴い水晶体が濁ることで、80代では約150度まで狭くなり、左右の安全確認不十分による事故や、追い越し時の接触事故の可能性が高くなります。従って、若い時以上に頭や首を動かして確認する必要がありますが、運転中は体と一緒にハンドルも動いて、思わぬ事故になったり、水晶体の濁りにより前方歩行者に気づく距離が短くなり、さらに筋力低下によって制動距離が長くなるなど、二重三重に交通事故の危険性が高まります。

○認知判断の問題

接近対向車に対する右折可能距離の判断実験では、若い世代は、接近する速度と距離に応じた判断ができますが、高齢者の場合、速度と距離の同時判断が難しくなり、相手との距離だけで判断することが増え、接近速度が早い場合は右折可能距離を誤り、直進車と衝突する危険性が高くなります。'

○高齢歩行者の特性

筋力低下から、85歳以上では歩行者用信号機の青色時間内に渡りきることが困難になり、横断歩行者と車の衝突事故の多くが横断後半で発生している原因の一つとなっています。また、斜め横断すると、例えば10mの横断距離が14mになってしまう場合、秒速1mの歩行速度として4秒遅くかかり、時速40キロの車だと約45mも近づきます。歩行速度が遅い場合には更に遅れるのでドライバーは高齢横断者を見たら、手前で停止できる速度までの減速が必要になります。

(3) 交通特性を踏まえ一般的に注意して欲しいこと

○自動車を運転するとき

- ・夜間は、歩行者や障害物の発見が遅れる可能性が高いので、運転を避ける。
- ・夜間に運転する場合には、対向車がない限りはアップライトにして、危険を早く発見する。
- ・明るい時間帯でも、一旦停止後の左右確認や、信号交差点では、小声で良いので、「右よし、左よし、信号 よし」等と意識的に呼称確認する習慣を身につける。
- ・交差点では、右側や左側から来る歩行者や自転車の発見が遅れる可能性が高いので、特に気をつける。
- ・体調不良や、疲労時には無理をせず、運転を避け、また、自動車に乗る時には、必ずシートベルトをつける。

(4) 地域社会の交通モラル

○交通安全については、地域社会における交通モラル等の確立が大切です。最近では、人と人の絆の大切さや、ボランティアに対する関心も高まっており、今後も、様々な面で高齢者が安全安心に暮らせる社会構築が積極的に検討されていくことが望ましいと考えています。

○皆様方におかれましては、どうか今後も、警察行政に対するご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

(今回の会報担当 永井則平)



1 県内の交通事故発生状況(11月10日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	4,350	43	4,947
昨年	4,762	51	5,465

